

過去の過ちを風化させず、 平和な社会をつくり出そう！



今年の8月6日は広島に原子爆弾が投下されてから80年が過ぎました。

一発の爆弾が生んだ惨禍は計り知れないものであり、当時の戦争を経験した世代は高齢者であり、いずれ語り継ぐ人もいなくなってしまう。

2011年3月11日、東日本大震災で一番社会問題となったのは「原子力発電所」でした。形は違えど、放射能汚染で地域が壊滅的になったのは記憶に新しいものです。

人間は時が経てば「風化」して意識をしなければ忘れる生き物であることもまた事実です。

今「核武装が最も安上がり」などという発言をする政治家が出てきていますが、そのような人をまた選んでいるのも選挙で投票している国民であることを忘れてはなりません。

戦争は憎しみと悲しみしか生みません。喜ぶのは一部の権力者や資本家です。

SNSが発達している昨今、情報が多々あふれ、また嘘やデマも広がっており、真実が何なのか今見極めることが非常に重要です。

未来ある子供たちに戦争が無い世の中へ！今を生きる大人が責任を持って、できることから行動していこう！